

マンション市場調査のトータルブレイン(港区、久光龍彦社長)は、2008年の首都圏マンション市場を総括した。

同社によると、金融危機の影響による倒産の連鎖はデベロッパーからゼネコンに及び、建設・不動産業界で07年後半に降り始めた雨は、08年に激しさを増し、現況は土砂降りという。そして08年の首都圏マンション市場は「激変」の年だったと振り返る。

マンション用地価格は07年がピークで、不動産業者の転売やデベロッパーの損

トータルブレインが総括

08年の首都圏マンション市場

切り処分をきっかけとして08年に値下がり転じたが、市況は悪化し、用地は買

エリア別に見ると、都区部は、アウトレットマンションが出現した。売れる側は

デベ倒産は4倍に

金融危機で激変の1年

価格調整 相場値崩れに拍車

て建築需要は冷え込み、下と、第6次マンションブームの終わりに当たる06年は

インは、アウトレットマンション販売は、まさに自らの破たんはお互いに与え

08年は「100年に一度の世界金融危機」が日本でも現実のものとなり、不動